

## プログラム

7月21日(日) 13:00~21:00

13:00~13:15 「熱帯林冠」研究ワークショップ開催の挨拶  
中静 透 (総合地球環境学研究所)

<林冠と大気のカス交換>

13:15~13:30 ランビルにおける微気象、水循環、炭素循環観測  
鈴木雅一 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

13:30~13:45 ベースラインデータの着実な蓄積と多分野研究者への提供、  
熱帯雨林における森林微気象の形成メカニズム、  
熱帯雨林における降雨の特徴、  
降雨が熱帯雨林の樹木生理生態に及ぼす影響  
蔵治光一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

13:45~14:00 Rainfall partitioning in several quadrats of lowland tropical rainforest  
O. J. Manfroi (東京大学大学院農学生命科学研究科)

14:00~14:15 ランビル国立公園における樹液流測定に関する報告  
久米朋宣 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

14:15~14:30 ランビル国立公園における風向・風速特性について  
諸岡利幸 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

14:30~14:45 休憩

14:45~15:00 ボルネオ、サラワクにおける低地混合フタバガキ林の蒸散に与える環境因子  
の影響  
熊谷朝臣 (九州大学農学部付属宮崎演習林)

15:00~15:15 東南アジア熱帯雨林におけるCO<sub>2</sub>フラックスの長期観測  
斎藤 琢 (九州大学大学院生物資源環境科学府)

15:15~15:30 ランビル国立公園クレーンサイトにおける地温・地中熱流束・土壌水分観測  
佐藤嘉展 (九州大学大学院生物資源環境科学府)

15:30~15:45 マレーシア、サラワク地方熱帯雨林における土壌呼吸の研究  
大橋瑞江 (九州大学農学部造林学教室)

15:45~16:00 森林動態からみた炭素収支  
中静 透 (総合地球環境学研究所)

16:00～16:15 休憩

<一斉開花と環境変動>

16:15～16:30 サラワク熱帯林の一斉開花に関連するキャノピースケールからグローバルスケールの気象変動シグナルの検出  
安成哲三 (筑波大学地球科学系)

16:30～16:45 ランビル国立公園内の第2タワーにおいて観測された気象データの気象学的解析  
高橋 洋 (筑波大学生命環境科学研究科)

16:45～17:00 ランビル国立公園における植物繁殖フェノロジー：10年間の調査結果から  
酒井章子 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

17:00～17:15 フタバガキ科巨大高木の繁殖や成長のメカニズム解明に向けて  
市榮智明 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

17:15～17:30 熱帯林の樹冠部における水・光利用特性の解明とスケーリング・アップ  
北橋善範 (北海道大学農学研究科)

17:30～17:45 フタバガキ科種子の羽根の光合成  
二宮生夫 (愛媛大学農学部)

17:45～18:00 休憩

<討論>

18:00～21:00

プロジェクトの仕上げ時期を迎えて

- ✓ 最終的な取りまとめ
- ✓ その後の取組み
- ✓ その他、必要に応じて適宜

7月22日(月) 9:00~15:00

<林冠状態の広域把握>

- 9:10~9:25 レーザプロファイラによる林冠三次元計測  
吉村充則 (総合地球環境学研究所)
- 9:25~9:40 BRDF 推定を目的とした時系列二方向性反射計測  
山下 恵 (科学技術振興事業団)
- 9:40~9:55 ラジコンヘリコプターを用いたランビル国立公園における現地調査  
山本浩万 (宇宙開発事業団 地球環境利用研究センター)
- 9:55~10:10 衛星合成開口レーダ(SAR)データの解析  
木村 宏 (岐阜大学工学部)
- 10:10~10:25 休憩

<一斉開花と植物食動物の多様性>

- 10:25~10:40 ランビル丘陵の植物相と多様性  
永益英敏 (京都大学総合博物館)
- 10:40~10:55 昆虫群集の時間的変動  
市岡孝朗 (名古屋大学大学院生命農学研究科)
- 10:55~11:10 フタバガキ科植物の対植食者防衛戦略の多様性とそれが生物群集に与える影響  
野村昌弘 (科学技術振興事業団)
- 11:10~11:25 ボルネオ熱帯雨林にみられるアリ植物オオバギ属におけるアリ防衛戦略の種間比較  
畑田 彩 (京都大学生態学研究センター)
- 11:25~11:40 休憩
- 11:40~11:55 フタバガキ科種子食昆虫群集  
中川弥智子 (京都大学生態学研究センター)
- 11:55~12:10 一斉開花に影響される *Dipterocarpus tempehes* (フタバガキ科) の花粉散布と遺伝的な選択  
田中健太 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)
- 12:10~12:25 花粉散布・種子散布の距離を決める要因は何か?  
竹内やよい (京都大学生態学研究センター)

12:25～12:40 熱帯雨林の人為的攪乱がハリナシバチ群集に与える影響  
鮫島弘光 (京大大学生態学研究センター)

12:40～12:55 フェノール性物質が被食・分解過程を通じて栄養塩循環に果たす役割の解明  
黒川紘子 (京大大学生態学研究センター)

12:55～14:00 昼休憩

<まとめ>

14:00～15:00